

参考文献

- 厚真町、1994、「厚真町老人保健福祉計画」、北海道厚真町
- 厚真町、1995、「厚真町新総合計画」、北海道厚真町
- 石川 晃、1993、「市町村人口推計マニュアル」、古今書院
- 江見 康一、1981、「人口移動と老齡保障」、人口学研究 第4号 1981.5、日本人口学会、古今書院、p.9 -p.12
- 大友篤、1998、「日本の人口移動」、大蔵省印刷局
- 岡崎陽一、1982、「地域人口移動のパターン - 宮城県の例」、人口学研究 第5号 1982.5、日本人口学会、古今書院、p.43-p.48、
- 奥江勲二、1998、「税制が変わる国家が変わる - 瀬戸際からの選択」、ダイヤモンド社
- 乙部町企画課、1992、「第3次乙部町総合計画」、北海道乙部町
- カ - プラス、ウオルタ - ・ J.、1993、牧野昇 訳、「破滅予測の限界」、経済界
- グッドマン、マイケル・ R.、蒲生勲輝 他 訳、1981、「システム・ダイナミックス・ノート」、マグロウヒル好学社
- 厚生省人口問題研究所監修、人口問題研究会編、1990、「人口の動向 - 日本と世界 人口統計資料集 1989」、(財)厚生統計協会、
- 厚生省人口問題研究所、1992a、「日本の将来推計人口 平成4年9月推計」、(財)厚生統計協会
- 厚生省人口問題研究所、1992b、「都道府県別将来推計人口 平成4年10月推計」、(財)厚生統計協会
- 厚生省人口問題研究所、1995、「人口統計資料集 1995」、研究資料第286号、厚生省人口問題研究所
- 厚生省人口問題研究所、1997a、「日本の将来推計人口 平成9年9月推計」、(財)厚生統計協会
- 厚生省人口問題研究所、1997b、「都道府県別将来推計人口 平成9年10月推計」、(財)厚生統計協会
- 厚生省大臣官房老人福祉保健福祉部、1992、老人の保健医療と福祉 - 制度の概要と動向、(財)長寿開発センター
- 厚生省編、1997、『厚生白書 - 「健康」と「生活の質」の向上をめざして (平成9年度版)』、(財)厚生問題研究会
- 河野稔果、岡田實 編、1992、「低出生力をめぐる諸問題 - シリーズ人口学研究2」、大明堂
- 国土庁地方振興局過疎対策室監修、1993、「平成4年度版 過疎対策の現況」、東京官書普及株式会社
- 国土庁地方振興局過疎対策室監修、1997、「過疎対策の現況 (平成8年度版)」、(株)丸井工文社
- 嵯峨座 晴夫、1993、「エイジングの人間科学」、学文社
- 札幌市企画調整局、1998、「札幌市統計書 平成9年度版」、札幌市
- 時事通信社、「官庁速報」、平成十年五月十四日

清水町、1991、「平成3年度の清水町歳入歳出決算書」、北海道上川郡清水町
清水町企画調整課、1991、「第3期清水町総合開発計画」、北海道清水町
総務庁統計局、1993、「北海道の人口 平成二年度 国勢調査解説シリーズ NO.2 都道府
県の人口 その1」、(財)日本統計協会
総務庁統計局、1997、「北海道の人口 平成7年度 国勢調査解説シリーズ NO.2 都道府
県の人口 その1」、(財)日本統計協会
総務庁編、1997、「高齢社会白書(平成9年度版)」、大蔵省印刷局
武田 宏、1995、「高齢者福祉の財政課題－分権型福祉の財源を展望する」、あけび書房
田辺 裕 編著 人口・世帯研究会 監修、1996、「職業からみた人口 その地域構造と変
動」、大蔵省印刷局
弟子屈町、「感動まちづくり‘97」実行委員会、1998、「感動まちづくり‘97Report」、弟子
屈町
東京都総務局統計部編、1992、「東京の将来人口－男女年齢(五歳階級別)別人口の予測」、
東京都統計協会
当別町企画部、1992、「当別町第3次総合計画」、北海道当別町
当別町企画部、1998、「当別町総合計画基本調査報告書」、北海道当別町
西村周三、1997、「医療と福祉の経済システム」、ちくま新書 111、筑摩書房
日本人口学会人口学用語委員会、1992、「官庁人口関係統計とその解説」、日本人口学会
濱 英彦・山口喜一 編著、1997、「地域人口分析の基礎」、古今書院
原 俊彦、1994、「市町村を単位とする地域人口推計システムのデザイン」、現代社会学研
究 第7巻、北海道社会学会、p.75- p.99
原 俊彦、1994、「人口流出と少子化・高齢化の関係についての考察－過疎化のシステム・
ダイナミクス・モデルの構築 その1」、北海道東海大学紀要、人文社会科学系 第7号、
北海道東海大学、p.1-p.14
原 俊彦、1995、「外部経済環境の変化が地域産業に与える影響－過疎化のシステム・ダイ
ナミクス・モデルの構築 その2」、北海道東海大学紀要人文社会科学系 第8号、北海道
東海大学、p.75-p.92
原 俊彦、1996、「人口流出が地域の福祉、教育、生活環境、行財政に与える影響－過疎化
のシステム・ダイナミクス・モデルの構築 その3」、北海道東海大学紀要人文社会科学系 第
9号、北海道東海大学、p.1-p.17
原 俊彦、1998-11、「地域人口推計の実際」、『第2回人口問題基礎講座 資料』、(財)人
口問題研究会、p.135-p.144
原 俊彦、1998-11、「地方分権推進計画が意味するもの－市町村への提言」、『北海道自治』
1998-11月号、第一法規出版株式会社、p.4-p.17
原 俊彦、1998-7、「景気動向と地域人口移動－不況下の北海道を考える」、『統計』1997-10
月号、(財)日本統計協会、p.1-p.6
原 俊彦、1997、「地域の福祉、教育、生活環境、行財政が人口流出に与える影響－過疎化
のシステム・ダイナミクス・モデルの構築 その4－」、北海道東海大学紀要人文社会科学
系、第10号、北海道東海大学国際文化学部、p.57-p.78
原 俊彦、1999-6、「北海道人口の特徴とその将来像」、第51回日本人口学会、 共通論題
A 「『人口減少社会』のフロンティア－北海道の特性と可能性」

原 俊彦、2000-3、「特集「日本の少子化」を考える - 北海道における少子化」、『統計』2000-3月号、(財)日本統計協会、p.16-p.21

原 俊彦、2000-3、「過疎化対策の可能性とその効果-過疎化のシステム・ダイナミクス・モデルの構築 その5-」、北海道東海大学紀要人文社会科学系、第13号 北海道東海大学国際文化学部、p.25-p.45

廣嶋清志、1993、「人口構成の変化と日本社会のゆくえ」、大森 X編、『人口動態と行政サービス』、ぎょうせい、p.3- p.21

府川哲夫・清水時彦、1990、「小地域生命表のベイジアン・アプローチ」、『人口学研究』第13号 1990-5、p.37-p.49

北海道、1998、「平成9年度 経済白書 北海道経済実相報告書」、北海道
北海道開発調整部編、1987、「北海道新長期総合計画 計画編」、北海道
北海道企画振興部編、1993、「平成4年度版 経済白書 北海道経済実報告書」、北海道
北海道企画振興部統計課監修、1995、「北海道統計110年の歩み」、北海道統計協会

皆川勇一、1989、「過疎問題の人口論的考察」、人口学研究 第12号 1989.5、日本人口学会、古今書院

宮川公男・小林秀徳、1988、「システム・ダイナミクス-経営・経済系の動学分析」、白桃社

メドウズ、H.D.&D.L.,ランダ - ス、J., 1992、茅 陽一監訳、村橋隆治、村井昌子 訳、「限界を越えて - 生きるための選択」、ダイヤモンド社

山口喜一編著、1989、「人口分析入門」、古今書院、p.175-p.240

横尾邦夫、1988、『くらしと自治の財政論ー予算は「もう一つの家計簿」』、自治体研究社

Forrester, Jay,W., 1969, "Urban Dynamics", Productivity Press, Portland, Oregon

High Performance System Inc., 1994, "Stella II Technical Documentation", High Performance System Inc., Hanover NH.

High Performannce System Inc., (株)パーシティ・ウエーブ 訳、1998, "STELLA 使用説明書", (株)パーシティ・ウエーブ

Meadow,D.L. et al., 1974, "Dynamics of Growth in a finite World", Wright-Allen Press Inc., Cambridge, Massachusetts

国立社会保障・人口問題研究所、1998、「人口統計資料集 1998」、研究資料 295号、国立社会保障・人口問題研究所

小内 透、1996、「戦後日本の地域社会変動と地域社会類型」、東信堂

総務庁統計局、1967、「北海道の人口 昭和 40 年国勢調査都道府県市町村総覧 都道府県の部 その1」、総務庁統計局

総務庁統計局、1996、「平成7年度国勢調査 調査結果の利用案内 - ユーザーズガイド」、総務庁統計局

阿藤誠、1997、「少子化と日本人口の将来 - 将来推計人口を読む」、『世界と人口』NO.278,p.6-p.20